

令和4年 第10回米原市定例教育委員会

日 時：令和4年10月25日（火） 午後3時30分開会
場 所：米原市役所 コンベンションホール

（出席者）

教 育 長：馬淵教育長
教 育 委 員：中川委員、本庄委員、膽吹委員、法戸委員、井口委員
教 育 部：口分田部長
教 育 総 務 課：梶田課長
学 校 教 育 課：山口課長
生 涯 学 習 課：平山課長
ス ポー ツ 推 進 課：高木課長
学 校 給 食 課：藤田課長
函 書 館：梶川館長
書 記：奥村

1 開 会

2 教育長挨拶

皆さんこんにちは。

秋も大分深まりまして寒くなってまいりましたけれども、寒くなったからと言って風邪をひくといろいろとややこしいので、なるべく風邪をひかないように生活をしているところですが、お互いに気を付けていきたいと思います。今日の新聞に、双葉中学校で「絆」という人文字を書いて上空から撮った写真が掲載されていました。伊吹山テレビでも各学校のことをよく出していただいています。このように、学校が一生懸命やっていることを発信してもらうのは非常にありがたいことです。こちらからも学校のことをなるべく発信してもらうようお願いしていますが、管理職会議でも学校がやっていることを地域の方に出してもらえるように周知をしていきたいと思います。次に、先日の新聞で町の幸福度ランキングというものが載っておりまして、滋賀県版で米原市は住み続けたい町は第5位、町の幸福度は第3位、第1位は栗東市なのですが、栗東市の給食は週4日しか提供できないので、もう1日何とかしてほしいという記事が載っていました。幸福度は何のデータで決めているのか、交通の便とか町の安全性などを根拠にしていると思いますが、できれば教育の面で特色を出して、米原市の教育が良いから米原市に来てもらえるということになれば理想であると思います。学校教育のみならず、生涯学習の面などでも魅力が発信できれば良いと考えております。次に、良いニュースですが、

今年の夏の第25回中学生広場で、米原中学校の生徒が最優秀賞に輝きました。滋賀県で12人選出して、この12人に選ばれて実際に米原学びあいステーションで発表して最優秀になりました。この生徒が、近畿中部ブロックでさらに3人のなかに選ばれたということで、全国で12人の中に入って全国大会に出場しています。非常に嬉しいニュースです。米原の子どもが全国の舞台上で活躍してくれるということは非常に嬉しいことであると思いますし、米原市の中学生も自分たちもできる、頑張れば手が届くんだという気持ちになってくれると非常にありがたいと思います。もう一つお話をさせていただきます。私も学校の教師でしたので子どもを見る目というのは非常に大事だと思っていましたが、私が大東中学校で校長として在職した4年間で、この子は憎たらしいと思う子は1人もいなかったし、何かいろいろな家庭事情があるのに、何でこんなに明るく素直に学校で過ごせるのだろうと、その健気さに感動していたところもあったんですが、ちょっとどきっとする言葉に出会いましたので紹介したいと思います。学校連携マネージャーの報告書に出ていたものですが、「違う自分を演じる子どもたち」という言葉です。「良い子にしていないと痛い目に合う子どもは良い子を演じ、振り向いて欲しくて仕方ない子は手のかかる子を演じ、期待を一身に背負っている子は優等生を演じ、事実を知られたくない子は悩みの無い子を演じ、今にも崩れてしまいそうな子は自分を支えるために強い子を演じる。」という言葉でした。大東中学校で子どもを見ていた時に、この子すごく頑張っているなと思ったんですが、「事実を知られたくない子は悩みの無い子を演じ、今にも崩れてしまいそうな子は自分を支えるために強い子を演じる。」こういうところがあったのかな、それを自分は4年間も見逃していたのかと思うと、責任を感じているところです。管理職会議でもこの言葉を紹介し、お互い子どもをよく見ていこうと、声掛けをしたいと考えております。

以上、最初の挨拶とさせていただきます。本日も御審議よろしく申し上げます。

3 会議録承認

令和4年第9回定例会議事録

4 所属長報告

(1) 教育総務課長

報告事項につきましては、10月4日に米原市議会第3回定例会が終了しました。また、10月6日には政策課題3役協議が開催され、令和4年度の各事業の進捗状況、令和5年度の重点施策の協議を行ったところです。10月16日には、双葉中学校グラウンドを主会場に市の総合防災訓練が開催されました。10月17日には、契約審査会におきまして、坂田小学校駐車場築造工事設計業務外1件の審査をいただきました。10月18日には、滋賀県教育委員会連絡協議会の県内研修会が開催されまして、教育委員の皆様にも御出席いただいたところです。今後の予定につきましては、10月31日、11月1日に滋賀県都市教育委員会連絡協議会の県外研修が長崎市で開催されます。また、11月2日には、米原市の教育行政の点検・評価に関する懇話会、また、18日に

は第11回の定例教育委員会を予定しています。11月10日には、米原市第3回臨時議会が予定されています。

(2) 学校教育課長

報告事項につきましては、先日すべての学校の人事訪問が終了しました。10月22日、23日には滋賀県人権教育研究大会が開催され、次年度開催市である米原市からも何人か参加させていただきました。今後の予定につきましては、10月26日から市教育委員会訪問ということで、教育委員の皆様には大変お世話になりますが、よろしくお願ひします。続いて教育センターからの報告です。若手職員および2年次職員研修については、コロナ禍の中、できる方法で実施しています。調査研究部会につきましては、特に自己肯定感、自己有用感の調査研究部会については、年間を通して椋山女学園大学の山田真紀教授にお越しいただいて御指導をいただいているところです。次に今年度の調査研究発表大会についても、昨年度と同様、動画配信を行う予定です。極力研修の機会を失うことなく実施していく方向としています。

(3) 生涯学習課長

報告事項としましては、10月の3連休に行われました米原曳山まつりは、3年ぶりに3基が勢ぞろいしての開催となりました。雨で一部の公演が中止になりましたが、新庁舎前で子ども歌舞伎の披露も実現し、地域の子どもの演技を大人が支えながら、まつりを次の世代に継承していくというシーンに、久々に日本の良き伝統が垣間見れたひと時となりました。また、ルッチプラザの音楽コンサート、お笑い落語は多くの方にお楽しみいただいたと聞いています。10月20日の歴史講座は、後鳥羽上皇ゆかりの地を訪ねるということで、大河ドラマのクライマックスに向けたタイミングとも合い盛況でありました。今後の予定につきましては、本日、第2回米原市文化財保存活用地域計画の策定委員会を開催します。この計画に関するシンポジウムを11月6日に開催する予定です。このほか、各学びあいステーションで文化祭や各種イベントなど、今年は秋の催しもウィズコロナで賑やかに開催される計画となっております。

(4) 図書館長

報告事項につきましては、ローカルメディアの魅力展については、地域誌の展示を行い地域誌編集の魅力を伝えています。講演会や対談も行われ、多くの参加者がありました。今後の予定につきましては、暗号図書館は11月5日から11月27日まで開催しているもので、ストーリーブックを読みながら館内で暗号解読に挑戦していただくイベントです。陶明かり展については、はにわ館で11月25日から12月25日まで開催します。地域の作家の方が作られた陶あかりの作品の展示で、土のぬくもりと透かし彫りから溢れる、投影の乱反射による幻想的な空間を楽しんでいただける展示となる予定です。

(5) スポーツ推進課長

報告事項につきまして、先日開催されました栃木国体は、3年ぶりの開催ということで、事務局がホッケー競技の視察に行きました。また、少年男子の部で伊吹高校男子ホッケー部が優勝されましたので、優勝報告会を開催しました。次に、10月29日から31日まで開催されます、全国障害者スポーツ大会の陸上競技に市内の方1人が出場されることとなり、社会福祉課と連携し激励会を開催しました。障害者の方を対象としたポッチャの体験会およびニュースポーツの出前講座については、スポーツ推進委員に参加をしていただきました。今後の予定につきましては、部活動の地域移行に関する意見交換会は、滋賀県が開催されるもので、国が現在想定されている各団体を対象にして開催されるものです。B&G全国教育長会議には、教育長に出席をしていただきます。全国スポーツ推進委員研究協議会は、本年度は滋賀県が当番となり、草津市を中心に開催されますので、スポーツ推進委員に参加をしていただきます。

(6) 学校給食課長

今後の予定につきましては、例年実施しております野菜の収穫体験を山東、春照、米原小学校を対象に11月に予定しています。食に関する指導は、小学1年生を対象としました好き嫌いをなく食べようと、小学5年生を対象とします、魚について知ろうを11月下旬から実施します。

5 所属長に対する質疑

A委員 : 1点目は、この季節は冒頭教育長のあいさつでもありましたが、各学校で運動会など、いろいろアイデアを絞って行われているということを知り聞き及んでおります。近所の子どもからも、校外活動へ行くのに祖母とおやつを買いに行くという話を聞いて、子どもの顔も自然と綻んでいました。何気ない日常ではありますが、コロナ禍で子どもたちも窮屈な生活を強いられてきましたが、少しずつ以前に近い形で活動が戻りつつあることを実感しました。やはり、子どもたちの成長には節目の行事が非常に大事であることを実感したところです。2点目は、中学生広場で非常に良い成績で、米原の子どもが全国大会まで出場するということが、非常に嬉しく思っています。改めて文化芸術面についても、基準が作りにくいですが、頑張っている子どもを顕彰するというか、皆に知らせていくことが非常に大事な事だと思います。何らかの形で褒めてあげるとか、広報してあげるということを事務局の方々にもお願いしたいと思っております。

最後に1点質問で、学級がうまく機能しない学級について、状況を教えてください。

事務局 : 若手の教員が担任をしている学級で、なかなか学級経営がうまくいっ

ていない状況の中で、子どもとの関係性がうまく作れていないという分析をしています。大荒れという状況ではありませんが、難しい状況です。

B委員 : 学校で使用しているタブレットについて、取扱いや管理など十分気を付けて使用していただいていると思います。今後もよろしくお願ひしたいと思います。

C委員 : 教育長の挨拶を聞いていて、本当の自分と違うことを表現したり、行動を起こすことによって自分の方を向いて欲しいという子どもが多いのではないかと思いました。本当の心の中が出しにくい、見せられない状況が子どもたちの中にあるのかなと思いました。子どもの本当の心の中を見る力、感じる力が教師や子どもたちに関わる地域の方にはすごく大切だと感じました。また、伊吹山中学校で、コロナ禍で開催ができなかった北国脇往還ウォーキングを、久しぶりに中学校1年生を対象に開催され、自分も関わりのある不登校の子も参加ができ、皆と最後まで歩くことができたことと校長先生から聞いて非常に嬉しく思いました。その前に開催された文化祭でも、中学校1年生の舞台発表には出られなかったけれども、自分も参加しているような気持ちで見られたと聞き、嬉しく思いました。普段学校ではクラスに行かない子ですが、友達がいることが分かって、夏休みから友達と遊びに行けたということがあり、嬉しく思いました。行事は縮小されていますが、各種取組を行う中で、子どもたちが友達と協力する機会は大きな成長する力になるのかなと思いました。自分もクラスの一員であるという存在感も分かりますし、まとまりのあるクラスが生まれたり、学級経営がうまくいっていないクラスでも子どもたちの力で変わっていくのではないかと思いました。地域活動や行事、コミュニティスクールをどの中学校も頑張っているし、地域の方もそれを見守っていただいていることは嬉しいことだと思いました。

D委員 : マスクに関することが大分緩んできていて、コンビニエンスストアなどでは、マスクの装着をしなくてよいと表示しているところも出てきています。子どもたちには、一般の場と学校生活におけるマスクの装着について、混乱を起こす懸念があると予想されます。学校での決まり事を決めてマスクの使い方を再度指導する必要があるのではないかと感じています。

E委員 : 10月は運動会があり、コロナ禍の中ですが伸び伸びと子どもたちが運動会を頑張ったように感じました。米原小学校で、ふるさとときずなウォークという地域を歩いて、いろいろな自治会のポイントを観察する行事

にボランティアで参加させていただきました。横断歩道で旗を持って安全に渡れるようにする役をしていましたが、子どもたちはみんな元気よく挨拶をしてくれました。米原小学校は、挨拶日本一という目標を掲げて子どもたちにみんなで挨拶をしようと取り組まれていて、当然、言えない子もいるのですが、元気よく挨拶をしてくれる子がたくさんいたので、改めて子どもから声を掛けてくれるのは凄く嬉しいと思いました。大人でもなかなか挨拶ができないところもあるので、子どもの元気な姿を感じました。先日さかなクンの記事を読んでいたところ、すごく個性的な人で、大学の教授もされていて魚の知識がすごく多くて、彼の幼少期は母親にとにかくたくさん褒めて貰えたということが書かれていて、それが自分にできるかという、よその子がいいことをしたら褒められると思います。我が子を常に褒めるのはなかなか難しいと思います。実生活ではちゃんとしなさいとか、早く起きなさいみたいな場面も多いので、たくさん褒めるのは難しいのですが、やはり褒めることは大事だと思いました。いろいろな目線で温かく子どもを見守ってあげながら、日々子どもの成長を見守って行けたらと思います。

6 議案審議

議案第 36 号 後援等名義使用承認（後援）

【学校教育課】

（内容）

別紙のとおり後援等名義使用承認申請書（後援）が提出されたので、米原市教育委員会後援名義の使用承認に関する規程により、この案を提出するものである。

事業名 第2回不登校フォーラム 不登校を知る 2022～秋のフォーラム～

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

議案第 34 号 後援等名義使用承認（後援）

【生涯学習課】

（内容）

別紙のとおり後援等名義使用承認申請書（後援）が提出されたので、米原市教育委員会後援名義の使用承認に関する規程により、この案を提出するものである。

事業名 映画「みとりし」上映会と西河美智子講演会

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

7 報告事項

- (1) 第 67 回滋賀県人権教育研究大会（米原大会）について 【学校教育課】
(内容)

滋賀県人権教育研究大会は、県内の学校関係者、社会教育関係者、企業の人権教育に関わる方が一堂に会して人権に関する学びを深めることを目的とする大会です。この大会は県内各市町が輪番制で開催しています。今年度は東近江市で開催、来年度が米原市の開催となっています。主催者は滋賀県人権教育研究会、滋賀県教育委員会、そして担当市の3者が主催となっています。例年、県知事が来賓として来られ、開催市の市長が顧問です。教育長が委員長を務められます。今回の総括会議で参加者が概ね1,500人位でした。コロナ前ですと、初日と2日目合わせて大体3,000人という規模の大きな大会です。今年度は人数制限をして実施しておられました。次年度、本市での大会となりますが、日程と会場は、令和5年11月3日と4日、初日の全体会は文化産業交流会館で2日目の分科会は米原小中学校と、市役所本庁舎、米原学びあいステーションを中心に実施予定です。

- (2) 米原市文化財保存活用地域計画（素案）について 【生涯学習課】
(内容)

この計画は令和2年度から取り組んできたもので、本年度完成を目指しています。計画策定の目的は、地域に所在する様々な文化財、未指定のものも含めてこの保存と特に活用に関して、継続性、一貫性のある文化財行政の取組方針と措置を定め、地域総がかりによる充実した文化財の保存と活用を目指して策定する、マスタープラン兼アクションプランとして、文化財保護法に定められた計画を策定するものです。今後の10か年計画と御理解ください。検討体制については、策定委員会の御意見を頂きながら、現在最終の取りまとめ段階にきています。スケジュールにつきましては、令和2年度に米原近江地区、昨年度は山東伊吹地区の文化財の把握調査を実施し、今年度計画の取りまとめ作業に入っているところです。今後策定委員会を開催し、パブリックコメント等を経て計画を策定し、今年度末に文化庁への申請、来年度7月を目標に計画の認定を目指すものです。教育委員会へは、パブリックコメントに出す前の計画がまとまった段階で議案として御説明したいと思っております。計画期間については、令和6年度から令和15年の10か年計画となります。第1章が米原市全体の概要、第2章は米原市の文化財の概要と特徴となります。現在4,798点の文化財を調査を含めて把握しています。こうした地域の宝というものを、今後保存と継承もありますが、活用しながら守っていくという部分になります。第3章は市の歴史文化の特徴ということで、米原市らしさを表現したところになります。大きな象徴として豊かな水と交差する道、こうした象徴を捉えながら、にぎわいということを含めて巷ということ 키워ドとしまして、米原市の歴史文化の特徴を6つに整理しております。第4章では米原市の文化財の保存と活用に関する将来像ということで、地域でつなぎ、地域で活かす、歴史文化とともにあるまちまいばらという形で将来像

を描いております。そうした将来像を基に、具体的な方向性を3つ示しており、地域で文化財を次世代へつなぐ、文化財を活かす、文化財の担い手づくりという形で整理しています。第5章の文化財の把握、調査内容、第6章では、保存と活用に関する現状から措置ということで、課題と方針を整理しています。第7章では、文化財の一体的、総合的な保存と活用として、重点的に取り組む項目を5つ設定しています。第8章、第9章は今後の会議を経て検討、一通りの議論が整理されるという形になります。国の方も、今までですと文化財を守る、保存する、それだけの部分でしたが、活用しながら地域の宝を守り育てていく、そのための計画となります。令和5年度には、文化庁が京都に完全に移転となるという動きもありますので、米原市としてもこの計画の認定に向けた取組を進めていくこととなります。

C委員 : 文化財については保護ばかりと思っていましたが、活用という部分で、学校の教育の中で、地域教材として活用するなどの発展的は部分は、この計画に入ってくるのでしょうか。

事務局 : 文化財を守るだけではなく、利活用が鍵となりますので、地域の宝を皆で共有して活用していく流れとなります。関係機関と連携を強化しながら守り育てていくというような表現等は入ってきますので、例えば今もう既にコミュニティスクールなどでも一体となって取り組んでいますし、北国脇往還でも一緒に素晴らし位置図を作られたりという部分もここに盛り込みながら、各機関と連携をさらに強めて取り組んでいくという部分で、位置付けさせていただきたいと思っております。

- | | |
|------------------------------|---------|
| (3) 年末年始休館にかかる個人貸出し冊数の変更について | 【図書館】 |
| (4) 後援等名義使用承認（後援）について | |
| ○2022 子育てと教育を語るつどい | 【教育総務課】 |
| ○令和4年度滋賀県第5ブロック学校保健研究大会 | 【学校教育課】 |
| ○滋賀県次世代育成ユースシアター事業「森は生きている」 | 【生涯学習課】 |

8 質疑応答
特になし

9 その他

- (1) 令和4年第11回定例教育委員会の開催について
日 時：令和4年11月18日（金）午後3時30分から
場 所：米原市役所 コンベンションホール

(2) 令和4年第12回定例教育委員会の開催について

日 時：令和4年12月20日（火）午後3時30分から

場 所：米原市役所 コンベンションホール

10 閉 会

以上をもって令和4年第10回定例教育委員会を午後4時40分に終了した。